

## 特別勘定クォーターレポート

## スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

## ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

## 参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:アバディーン投信投資顧問株式会社)

## 世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

## 基準価額の騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年
世界バランス・ファンド	2.52%	0.95%	8.98%	14.32%	48.31%

## 資産別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)	ベット
<b>株 式</b>	50.49%	50.00%	0.49%
北米地域	27.56%	29.45%	-1.89%
欧州(除く英国)	11.03%	9.66%	1.37%
英国	4.16%	4.33%	-0.17%
日本	3.17%	4.05%	-0.88%
香港・シンガポール	2.66%	0.87%	1.79%
豪州・ニュージーランド	1.92%	1.64%	0.28%
<b>債 券</b>	49.01%	50.00%	-0.99%
米ドル圏	16.80%	16.57%	0.23%
欧州(除く英国)	16.77%	17.79%	-1.02%
英国	2.83%	2.92%	-0.08%
日本	12.60%	12.73%	-0.12%
<b>現 預 金</b>	0.50%	0.00%	0.50%
<b>合 計</b>	100.00%	100.00%	0.00%

## 通貨別構成比

	ファンド	複合指数 (参考データ)
米ドル圏	48.35%	46.26%
ユーロ圏	25.22%	25.38%
イギリスポンド	6.15%	7.24%
豪ドル(含NZD)	2.33%	2.27%
スイス・フラン	1.65%	2.07%
日本円	16.30%	16.78%
<b>合計</b>	100.0%	100.0%

\* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

## 特別勘定の名称

グローバルマーケット型

## 主な運用対象の投資信託

世界バランス・ファンド  
(適格機関投資家専用)

## 投資信託の運用会社

アバディーン投信投資顧問株式会社

## ユニット・プライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
2.32%	0.63%	7.96%	12.37%	41.89%	40.88%

## 特別勘定資産内訳

					構成比(%)
現 預 金	・	そ の 他	・	投 資 信 託	4.4%
合 計					95.6%
					100.0%

## 上位10銘柄

(総組入れ銘柄数 172)

株式	国名	業種	投資比率
ROCHE HOLDING AG-GENUSSS	スイス	ヘルスケア	2.55%
CVS CAREMARK CORP	アメリカ	生活必需品	2.25%
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	生活必需品	2.21%
ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	イギリス	エネルギー	2.20%
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	ヘルスケア	2.17%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	ヘルスケア	1.97%
TENARIS SA-ADR	イタリア	エネルギー	1.93%
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	アメリカ	生活必需品	1.80%
EOG RESOURCES INC	アメリカ	エネルギー	1.67%
ENI SPA	イタリア	エネルギー	1.63%
合計			20.38%

債券	クーポン	償還日	投資比率
アメリカ国債	1.250	2018/10/31	1.42%
アメリカ国債	0.625	2016/11/15	1.31%
スペイン国債	2.100	2017/04/30	0.90%
イタリア国債	3.500	2018/06/01	0.86%
第260回利付国債(10年)	1.600	2014/06/20	0.65%
アメリカ国債	3.750	2043/11/15	0.59%
イタリア国債	5.500	2022/09/01	0.58%
フランス国債	3.500	2015/04/25	0.58%
オーストラリア国債	5.500	2018/01/21	0.54%
アメリカ国債	2.750	2023/11/15	0.53%
合計			7.95%

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

## 運用コメント

### 市場概況

#### ・日本株式

- (1月) 中国の景況感指数の悪化をきっかけとした新興国の経済・市場への懸念が高まると、投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場は大幅に下落しました。  
(2月) 月末にかけてウクライナ情勢や中国の人民元急落などを背景にリスク回避の円高が進み、株式市場は揉み合いとなりました。  
(3月) 消費増税後の国内景気の不透明感が高まりましたが、米経済指標の改善による金利差拡大観測が円安要因となり、株式市場は前月と変わらない水準で終わりました。

#### ・日本債券

- (1月) 日銀の金融政策決定会合では政策方針の現状維持を決定したことから、追加金融緩和期待が後退して国内の長期金利は低下しました。  
(2月) 日銀の金融政策決定会合では、「成長基盤強化を支援するための資金供給」を1年間延長し、7兆円に拡大することを決定するなど、若干の金利低下となりました。  
(3月) 日銀による長期国債買い入れオペの減額などを受け、金利はやや上昇しました。

#### ・外国株式

- (1月) 米雇用統計の低調や、米企業決算の好不調などから軟調に推移しました。  
(2月) 米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事録発表で緩和的な金融政策の継続期待が高まり、米国株式市場は最高値水準で月末を迎えました。  
(3月) ウクライナ情勢の緊迫化、中国経済に対する悲観的な見方などを背景に下落する場面もありましたが、月末にかけては新興国株式を中心に反発しました。

#### ・外国債券

- (1月) FOMCが債券購入額を前月に続き毎月100億ドル縮小し、650億ドルとする方針を発表したことを受け、主要国の金利は低下しました。  
(2月) 米国債務の上限を一時停止する法案の可決から財政面での不透明感が後退し、主要国の金利に特段の変化は見られませんでした。  
(3月) 3月のFOMCで市場からの債券購入額を現在の月650億ドルから100億ドル減らすことが決定されると利回りは反発、月間でも若干の利回り上昇となりました。

#### ・為替

- (1月) 米国の経済指標が伸び悩み、円に対する逃避需要の高まりなどからリスク回避の動きにより米国の金利は低下し、日米金利差が縮小したことなどから大幅な円高となりました。  
(2月) ポルトガルの国債買い戻し計画がユーロ圏の債務危機脱却の兆候と捉えられ、ユーロは大きく上昇しました。  
(3月) ウクライナ情勢の混乱から安全需要が高まり円高となる局面もありましたが、月末にかけて主要通貨に対して概ねやや円安となりました。

### 運用概況

- ・今四半期(2014年1月～3月)のファンドのパフォーマンスは、基準価額ベースで+0.95%となりました。月別に見ると1月が-3.43%、2月が+1.96%、3月が+2.52%となります。株式および債券は上昇、通貨は円高の影響を受けてマイナスとなりましたが、基準価額は上昇しました。  
・今四半期のパフォーマンスは、ベンチマークを上回りました。その主なプラス要因となった銘柄選択効果において、株式部門ではベンチマーク対象地域外である新興国を除けば、英国以外の各地域別リターンはベンチマークを上回りました。債券部門では事業債等への投資が多い米国市場がプラスを牽引しました。資産および地域配分効果において、債券のリターンが株式を上回っていたことで株式部門へのオーバーウェイトは資産クラスとしてはマイナスでしたが、地域配分において新興国市場への投資や下落率の大きかった日本市場へのアンダーウェイト等で全体としてはプラスになりました。為替は、期を通してベンチマークを意識した運用を行いパフォーマンスへの寄与は限定的でした。  
・今四半期の資産配分については、期初から株式をややオーバーウェイト、債券をややアンダーウェイトを基準とし、期中での変更はしませんでした。株式については、北米地域や日本のアンダーウェイト、欧州および香港・シンガポールなどアジア株式のオーバーウェイトを継続し、加えて新興国市場にも引き続き投資しています。債券については、国内外で中立的な配分とし、ただし日本では現預金相当分をアンダーウェイトしました。為替に関しては、引き続き米ドルおよびユーロ等の各通貨で中立を維持しました。

### 運用方針

- ・世界的に景気見通しが上向き、金融緩和を修正しつつある米国と、引き続き緩和を継続する欧州の状況から、わずかに株式をオーバーウェイト、債券をアンダーウェイトとする予定です。  
・株式については、北米地域や日本のアンダーウェイトを継続する一方、欧州および香港・シンガポールをオーバーウェイトとする方針です。  
・債券については全般に中立とする中、日本は現預金相当分をアンダーウェイトする方針です。為替に関しては、全体的にウェイト付けは行わない予定です。

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

## 当資料はアクサ生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

### ご注意いただきたい事項

#### ▲ 投資リスクについて

この保険の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行なわれます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

#### ▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務または財産の状況の変化により、年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

#### ▲ 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して <b>5.0%</b> を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して <b>(年率0.75% + 運用実績に応じた費用( ))</b> /365日を毎日控除します。 運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が <b>年率1.5%を超過</b> した場合のみ、 <b>超過分1%あたり0.1%(上限1.25%)</b> を控除します。
年金管理費	年金支払開始日以後、支払年金額の <b>1%</b> を年金支払日に控除します。
資産運用関係費	グローバルマーケット型 <b>年率0.714%程度( ~ 3/31 )</b> <b>*年率0.7344%程度(4/1 ~ )</b>

\*平成26年4月1日から、消費税率が5%から8%に引き上げられることから、資産運用関係の費用を変更させていただきます。

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

### その他ご注意いただきたい事項

当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。

新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。

特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。

特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。

ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

新変額個人年金保険(無配当)「スイス年金」は現在販売しておりません。

#### 【募集代理店】

株式会社東京スター銀行



東京スター銀行

0120-330-655

(平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00 年末・年始を除く)

ホームページ/ <http://www.tokyostarbank.co.jp>

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/>